

平成 16 年 6 月 24 日

各 位

東京都港区白金台三丁目 16 番 13 号
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 富田 憲介
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 管理部部長 西島 雄一
電話番号 03 5798 7390

膵臓癌を対象とした治療用抗体医薬開発における提携のお知らせ

オンコセラピー・サイエンス株式会社(東京都港区、社長:富田 憲介 以下 OTS)は呉羽化学工業株式会社(東京都中央区、社長:田中 宏 以下 呉羽)と、膵臓癌の遺伝子発現解析研究より得られた癌関連遺伝子を標的とした癌治療用抗体医薬の研究・開発において提携しましたのでお知らせします。

呉羽は 1962 年以降、医薬品事業を開始し、1977 年に抗悪性腫瘍剤「クレスチン」、1991 年に慢性腎不全治療剤「クレメジン」カプセル、2000 年に「クレメジン」細粒を三共株式会社(以下三共)と事業提携して販売する一方、「クレメジン」については海外展開のための共同開発を行っています。更にこの「クレメジン」のオーファンドラックとしての新適応(クローン病)の追加承認申請も行っています。1999 年には永年に渡って蓄積した免疫を主体とした評価技術と新しい作用機序の研究、更にコンピュータ・ケミストリーを駆使した結果、経口投与可能な抗 HIV 剤(CXCR4 ブロッカー)を見出し、三共と共同で開発を進めています。現在、抗 HIV 活性の高い開発候補品が決まり、前臨床試験を実施中です。他方、大学と共同で遺伝子関連のバイオ創薬の研究にも取り組んでおります。

OTS は、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長 中村祐輔教授の研究成果を事業化する目的で設立されたバイオベンチャー企業で、中村祐輔教授と共同でヒト癌組織における遺伝子発現の研究を行い、癌治療に役立つ医薬品・診断薬などの研究開発を行っています。ゲノム研究の世界的権威で、癌遺伝子探索でも第一人者である中村祐輔教授は、約 3 万種類の遺伝子の働きを cDNA マイクロアレイで網羅的に調べ、多くの患者さんの癌組織で共通に発現が上昇し、正常重要臓器では発現が少ない遺伝子を解析する研究を行っています。これらの遺伝子の働きを抑制出来れば、癌細胞の増殖だけを阻害し正常臓器には毒性を示さない、副作用の極めて少ない、疾患選択性の高い新世代の癌抗体医薬の開発が可能となることが期待されています。

今回の提携で OTS は、膵臓癌の癌組織における遺伝子発現に関する研究を行い、癌の発生・進行に重要な役割を持つ遺伝子の情報の収集と、その機能解析を実施します。更に、遺伝子情報をもとに創薬に適する膜発現遺伝子等を選択し、これをターゲットとした抗体の研究を行います。呉羽はその抗体に関する情報を利用して、抗体医薬の開発、製造・販売を行います。

膵臓癌は、悪性腫瘍のうちでも早期発見が困難でありかつ、有効な治療法が確立されていない癌種の一つとして知られています。また、癌は複数の遺伝子異常の蓄積により発生するため、抗癌剤の研究・開発にはゲノムからのアプローチが最も有効であります。癌遺伝子探索と抗体の研究を行う OTS と医薬品、特に抗癌剤の研究・開発でも実績のある呉羽との今回の提携により、極めて有望な新薬の迅速な開発が期待できます。

なお、既に公表しております通期業績予想に変更はございません。

以上

呉羽化学工業株式会社の概要

主な事業内容： 機能製品事業、化学製品事業、樹脂製品事業

設立年月日： 1944年6月

本店所在地： 東京都中央区日本橋堀留町1-9-11

代表者： 田中 宏

資本の額： 124億6,000万円

従業員数： 1,441名

売上高： 1,350億円（連結 2004年3月期）

大株主構成および持株比率：	日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）	8.9%
（2004年3月31日現在）	明治安田生命保険相互会社	7.3%
	東京海上火災保険株式会社	7.0%
	日本マスタートラスト信託銀行（信託口）	4.0%
	みずほコーポレート銀行	3.7%
	三共株式会社	3.1%

当社との関係： 人的及び資本関係はございません。